記者発表資料

平成２８年８月３１日
東 北 地 方 整 備 局
七 ヶ 宿 ダ ム 管 理 所

七ヶ宿ダムの洪水調節効果(速報)

～　台風１０号に伴う出水での七ヶ宿ダムによる効果　～

８月３０日の台風１０号による降雨に伴う出水は、ダムに流れ込む水の量が１秒間で**４０８．３立方メートル**にまで達し、七ヶ宿ダムの**管理史上第７番目**の出水となりました。

七ヶ宿ダムでは、今回の出水においてダム下流に流す水の量を最大流入量時約３００m3/sの調節を行い、合計で約１，０００万立方メートルの水を貯め込みました。

〇ダム下流の河川水位の上昇を緩和
白石市内での河川水位を約４０cm低減させ、はん濫注意水位（白石観測所）以下に抑える効果があったものと推測。

〇３週間連続しての出水
８月１７日台風７号出水から３週間連続で出水となるのは管理開始以降初めてです。

〇今年８月のダム流域平均降雨量は過去１０ヶ年平均の３．０倍
今年８月のこれまでの降雨量は４２３．６mmで過去１０ヶ年平均８月降雨量の３．０倍に相当します。

＜発表記者会：仙南記者クラブ＞

問い合わせ先

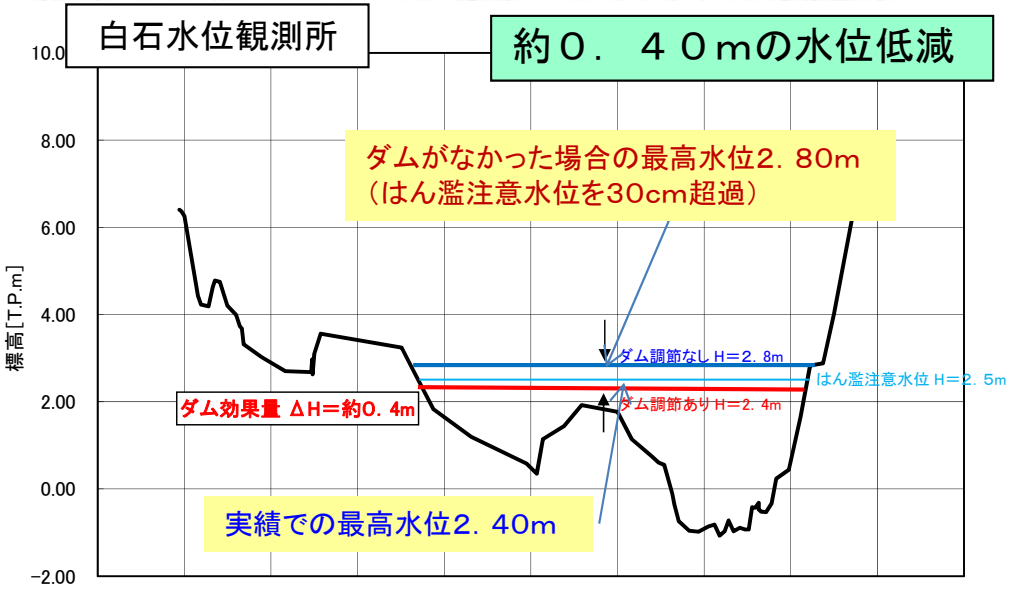
国土交通省　東北地方整備局　七ヶ宿ダム管理所
TEL 0224-37-2122　　FAX 0224-37-2471
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http//www.thr.mlit.go.jp/shichika/
管理所長　阿部　富雄（内線２０１）
専 門 職　柴田　敏明（内線３３０）

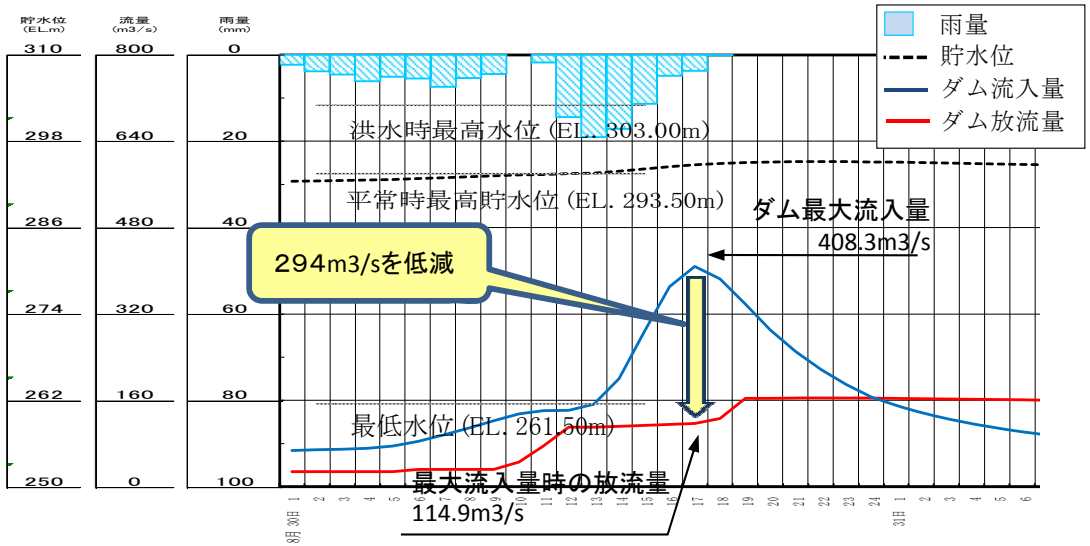
台風10号出水における七ヶ宿ダムの効果（平成28年8月30日）　（速報値）

〇８月３０日、台風１０号による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(28日11時～)は156.5mmに、最大流入量は１秒間に408.3立方メートル（七ヶ宿ダム管理開始以降第７位）に達しました。
〇今回の出水においては、ダム下流に流す水の量を最大流入量時約３００m3/sの調節をおこない、下流の白石市内（白石水位観測所：同市半沢屋敷）で、水位を約０．４０m低減させ、はん濫注意水位以下に抑える効果があったものと推測されます。
〇８月１７日台風７号出水から３週間連続での出水となるのは管理開始以降初めてで、今回貯め込んだ容量は総量で約１，０００万立方メートル（東京ドーム約８杯分）となりました。
〇今年８月のこれまでのダム流域平均降雨量は４２３．６mmで過去１０ヶ年平均８月降雨量の３．０倍に相当します。



白石川（白石地点）







※本資料の数値等は速報値であるため今後の調査で変わる可能性があります。